

12月12日(月)は市民福祉常任委員会。市民福祉常任委員会は11議案、2請願4陳情を審議しました。

委員長 渡辺貞雄(あつきみらい)	A
副委員長 遠藤浩一(公明党)	B
委員 栗山香代子(日本共産党)	C
山本智子(無党派)	D
高橋 豊(あつきみらい)	E
山崎由枝(公明党)	F
井上敏夫(新政あつき)	

一般会計の他に所管の特別会計と病院事業会計の補正予算がありました。今回は人事院勧告に基づく給与又は期末手当等の引き上げがありませんので、ほとんどの会計で補正がなされたものです。

また、国の補正で厚木市は8億3288万円が入り、そのうちの5億6857万円が臨時福祉給付金となります。

老人福祉費では地域密着型サービス事業所の開設に向けた補助金があります。金田地区に老人憩の家と児童館の複合施設建設のための用地取得で1億円。

保育内容充実のために1億9044万円が使われます。

厚木市敬老祝金支給条例の一部改正が提案されています。(表のとおり)

新	旧
(敬老祝金の額) 第3条 敬老祝金は次のとおりとする。	(敬老祝金の額) 第3条 敬老祝金は次のとおりとする。
(1)77歳の者 3,000円	(1)75歳の者 5,000円
(2)88歳の者 5,000円	(2)80歳及び85歳の者 5,000円
(3)99歳の者 10,000円	(3)90歳及び95歳の者 20,000円
(4)100歳の者 30,000円	(4)100歳以上の者 50,000円

厚木市子ども科学館条例の一部改正では、プラネタリウムの定期観覧券(1年間)ができる予定。

新			旧		
区分	観覧料		区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(30人以上1人につき)		個人	団体(30人以上)
	観覧券(1回分)	定期観覧券			
大人	200円	800円	一般	200円	160円
子ども	50円	200円	児童・生徒	50円	40円

請願では

安全安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求めるもの、介護従事者の勤務環境と処遇の改善を求めるものがありました。

審議の中で、神奈川県保健医療計画では県央医療圏で将来242床不足するとの答弁がありました。賛成は栗山・山本のみで不採択。

陳情は、別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備を求めるものについて趣旨採択となりました。

年金、生活保護については賛成が栗山のみで不採択でした。

12月議会 今後の予定

12月21日(水) 議会運営委・本会議

時間は、午前9時からです。最終日には、議案・請願・陳情に対する委員長報告の後、賛成・反対の討論があり採決となります。ぜひ、傍聴においでください。

話題あれこれ

落語、笑えない小話

12月10日(土)、厚木市交通安全市民総ぐるみ大会がありました。今年の交通事故件数は前年より少ないものの、6人が亡くなっているとのこと。高齢者の事故は被害も加害もどちらも多く、また二輪車での事故もあるとのこと。注意喚起がされました。交通安全功労賞等で個人・団体への表彰。式典の後は講演。今年は落語2席。厚木市飯山出身の立川志庵(しえん)さんと、依知出身の柳家小太郎さん。

なんでも交通安全に関する斬をとの希望だったそうですが、江戸時代には自動車が無くて。小太郎さん、「現代は車が人をひく時代だけれど、江戸時代は人が車をひいていたそう。ー(こ)でわかるか、わからぬか。」

「怒らないでくださいいね」と始めた小話は...夫婦と子どもとペットのサルが車に乗っていた事故。人間は負傷し、入院中で事故の状況がわからない。事故発生時の様子をサルに聞くと、身振り手振りで答えた。

おとうさんは、お酒を飲んでいた。おかあさんは、携帯でおしゃべり。子どもがはしゃぎまわって。サルは、運転中!

飲酒運転? 携帯使用? チャイルドシートは着用せず。実は無免許。

聴衆の多くは、制服を着た交通安全指導員さん。笑えない.....

歩道橋のこと

5年に1度の法定点検

先日、「厚木市立病院前の歩道橋に何か所も印がついているが工事をするのだろうか」との質問がありました。

国県道調整課に聞いてみると...「国土交通省によると、市立病院前の歩道橋は、5年に1度の法定点検をしているもの。業者からまとめて報告があるのが2月ごろだろう。その結果、緊急に対応が必要であれば実施する。」

歩道橋は通常コンクリート製(ゴムチップ舗装)だが、病院前はメタル製。歩道橋は下の道路よりもふかふか感じるだろう」とのことでした。

なお、厚木警察署前の歩道橋について、法定点検は再来年だそうです。